

令和6年4月5日  
小樽開発建設部  
小樽市

## 「小樽港第3号ふ頭クルーズ船岸壁 供用記念式典」 「みなとオアシス小樽 登録証交付式」を開催

小樽港において整備を進めてきた小樽港第3号ふ頭クルーズ船岸壁が本年3月に完成し、4月21日のダイヤモンド・プリンセス（11万トン級、乗客乗員約3,800人）の入港に合わせ、供用記念式典を小樽市と小樽開発建設部により開催します。

また、小樽国際インフォメーションセンターやクルーズ船ターミナルを「みなとオアシス小樽」として登録することとなり、同式典と併せて登録証交付式を行います。

### <式典の概要>

- 1 開催日時：令和6年4月21日（日）11：30～（1時間程度）
- 2 開催場所：小樽港クルーズターミナル（小樽市港町3番3号）
- 3 主催：小樽市、小樽開発建設部
- 4 その他：取材を希望される場合は【別紙2】取材申込書にてお申し込みください。  
また、天候等により式典を中止する場合がございますのでご了承ください。



### 【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

築港課 課長 鈴木 誉久（電話 0134-23-5214）  
小樽港湾事務所 計画課長 西多 道祐（電話 0134-23-6131）  
（小樽開発建設部ホームページ） <https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>



小樽市 港湾室  
港湾振興課 課長 とがし まこと（電話 0134-23-1107）  
主幹 はんざいけ ゆう（電話 0134-23-1107）  
（小樽市ホームページ） <https://www.city.otaru.lg.jp/>

- 小樽港に入港する大型クルーズ船は、これまで、小樽観光を代表する小樽運河から約2.5km離れた勝納ふ頭を利用しており、小樽観光を代表する施設まで徒歩でのアクセスに課題がありました。
- 令和6年3月に完成した第3号ふ頭クルーズ船岸壁は、小樽運河にわずか約300mの距離に位置しており、観光消費とクルーズ船寄港数の更なる増加が期待されます。



小樽港第3号ふ頭と勝納ふ頭の位置関係



## ○みなとオアシスとは

- ・地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、平成15年に制度を設立
- ・住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設として、国土交通省港湾局長が申請に基づき登録するもの

## ○みなとオアシスの担う役割

- ・地域住民、観光客、クルーズ旅客等の交流及び休憩
- ・地域の観光及び交通に関する情報提供
- ・その他（災害時の支援、商業機能 など）

## ○みなとオアシスの構成施設

- ・旅客施設、展望施設、多目的ホール
- ・観光案内施設
- ・駐車場、トイレ、津波避難タワー
- ・産地直売施設、レストラン など



標章  
(シンボルマーク)

## ○みなとオアシスの設置者・運営者

- ・地方公共団体（港湾管理者含む）
- ・NPO団体、協議会 など



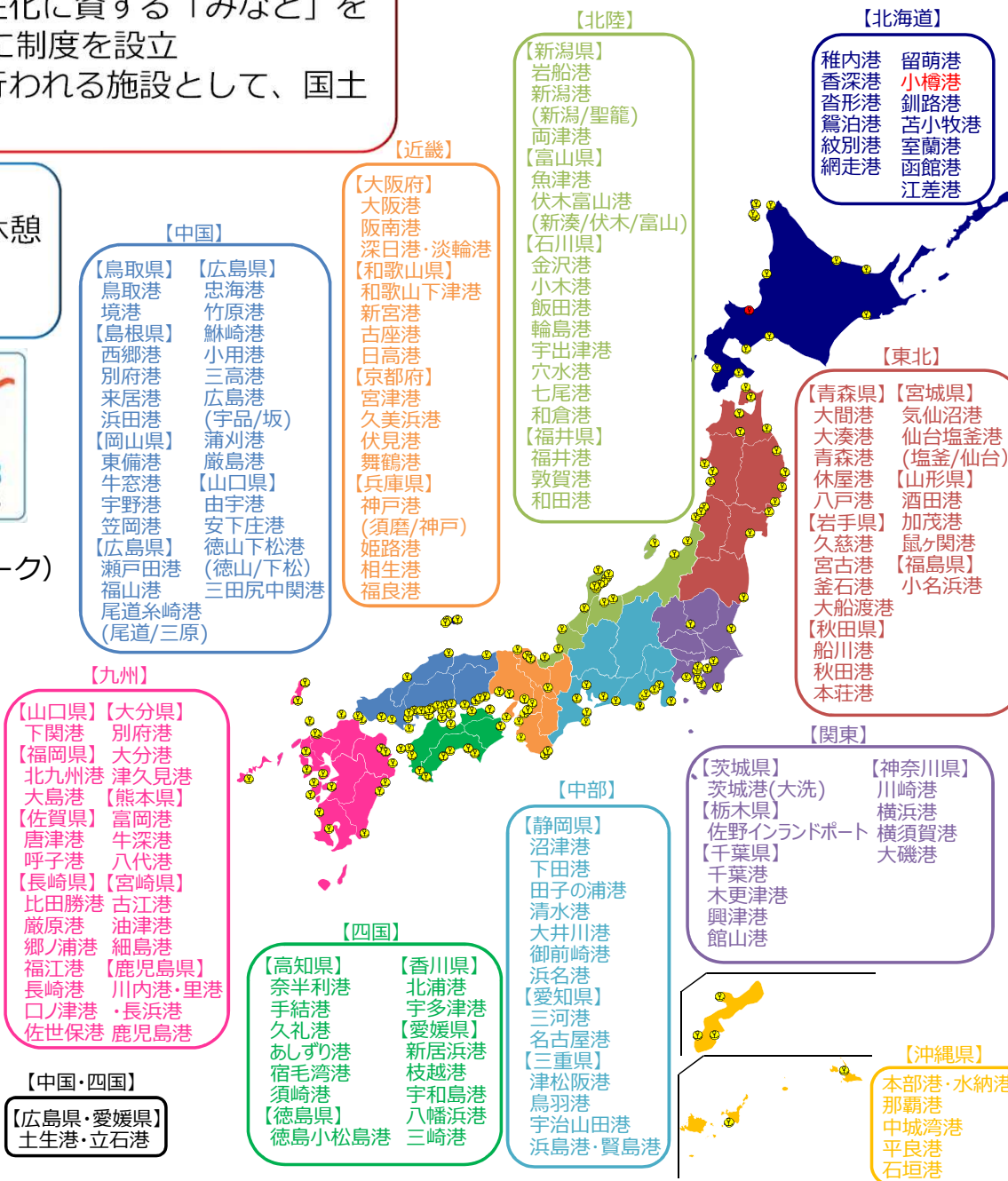
構成施設のイメージ  
(下関港、カモンワーフ)



地域振興イベントの開催状況  
(Sea級グルメ全国大会in沼津)

**登録数 161箇所**  
(令和6年4月21日予定)

## みなとオアシス所在港湾の一覧



# 【別紙1】みなとオアシス小樽の概要

「港を巷に」をコンセプトとし、運河の海側において、市民や観光客による賑わい空間を新たに創出するため、小樽国際インフォメーションセンターを代表施設として、クルーズターミナル、観光船乗り場、緑地等の有機的な連携を図りながら、市民参加による、みなとまちづくりを進めます。

設置者	小樽市
運営者	みなとオアシス小樽運営協議会（経済団体、観光団体、港湾団体、漁協等）
登録日	令和6年4月21日

代表施設：小樽国際インフォメーションセンター



クルーズ船歓迎イベント



## 船舶の諸元

船名	:ダイヤモンド・プリセンス
船籍	:イギリス
総トン数	:115,906トン
全長	:290.0m
全幅	:37.5m
乗客乗員数	:約3,800名

